

嘗へす 天甜酒 思いつつ 大和の稻穂 刈る鎌の音

令和七年九月二十二日

大中臣正比呂



「其の田の稻いねを以て、天甜酒あめのたむざけを釀かみて 嘗いなへす」と日本書紀にある。

神に豊穣ほうじようを感謝し、収穫を祝う秋は御神酒おみきの發祥はつじようであり、古代から日本人の喜びの表現であった。

今はトラクターで一気に刈り取るが、昔は利鎌とがまでザクザクと刈り取るので、腰が痛くなる重労働である。

今日は八鹿酒造の会長さんお勧めの「クリームチーズの西京焼」を GINZA SIXで買ってきた。中々の酒の肴さかなである。